

平成 31 年度使用中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」）の採択結果等について

採択地区名 江田島市

種 目	発行者	採 択 理 由
特別の教科 道徳	日文	<ul style="list-style-type: none"> ○教材ごとに主題名を示している。何を考えるのかが分かりやすい言葉で示している。 ○教材文の最後に、「考えてみよう」及び「自分に+1」として記載している。 ○教材「二通の手紙」（第3学年）について、六つの発問がある。導入の発問が一つ、基本発問が二つ、中心発問、後段の発問が二つ記載されている。話し合いを通して、考えを深められるよう工夫されている。 ○問題解決的な学習に適した教材には、目次、該当ページ及び巻末にマークを付けて示し、教材文の終わりに、問題を解決するための「学習の進め方」のページを設け、学習展開例を示しているため、問題解決的な学習を展開しやすい。 ○各教材で、これからの自分にどう生かすか考えさせる「自分に+1」を設けている。 ○「プラットフォーム」として教材と関連した内容や生活に携わる内容を示している。 ○目次に『『いじめ』と向き合う』として示すとともに、いじめを扱う最初のユニットに、扉ページ『『いじめ』と向き合う』を設定している。 ○SNSやインターネットへの書き込みに関する教材、歩きスマホに関する教材、著作権に関する教材を掲載している。 ○巻頭の「道徳科での学び方」の中で、「学びをより深めるための手立て」として話し合いの具体的な状況を示している。 ○別冊「道徳ノート」に、教材における話し合いを促す記述や、友達の意見や話し合いをメモする欄を設けている。